

2021 年 5 月 10 日

実践女子大学・実践女子大学短期大学部

教員研修 成果報告書 (Web 公開用)

1.所属	生活科学部 生活文化学科
2.職名・氏名	准教授 塚原拓馬
3.研修期間	2020 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日
4.研修先機関（国名）	早稲田大学 経営管理研究科
5.研修課題名	「現代の生涯発達における心理的適応に関する研究」
6.研修経過 （月単位で記載してください）	本研修ではライフサイクルにおけるメンタルマネジメントを研究するために、個人要因だけではなく組織的要因を包含し、戦略的に育成（支援）をすることを検討した。そのため組織論、経営戦略、人的資源管理論の知見についても探究した。 ・2020 年 4 月～7 月：経営戦略、人材育成、マーケティング、CSR/ESG、ファイナンスなど経営学の基本的知見について探究。 ・2020 年 8 月～9 月：ライフサイクル論とキャリア発達、組織開発に関する質的データの収集と整理、量的データの分析。 ・2020 年 10 月～2021 年 1 月：総合経営、買収と合併、国際経営、マーケティングなど組織経営の基本的知見について探究。 ライフサイクルモデルにおける組織開発およびキャリア発達に関する論文執筆。 ・2021 年 2 月～3 月：現代社会に生きる人のライフサイクル（生涯発達）において適応的発達に関する理論モデルの再検討および、各ライフステージにおける最適な支援の在り方について検討。
7.本研修で得られた成果等（論文・学会発表含む）	書籍・論文 ・「（仮）生涯発達の理解と支援」 単著 出版予定 ・「ライフサイクルモデルに基づく組織開発とキャリア発達」 早稲田大学経営管理研究科 2020 年度プロジェクト研究論文
8.所感	本研修においては、現代に生きる人々のライフサイクルに関し、個人内過程だけではなく組織的要因を包含した知見の探索を目的とした。人は何らかの組織に帰属して社会生活を営んでおり、適応的な発達・成長は、個人が帰属する組織的要因の影響力は看過することができないと考える。そのため、本研修のテーマとして、特に「組織経営」という視点を重視して、経営学的な知見を応用することを試みた。そこでは、組織における人的資源管理だけではなく、戦略的に組織を開発していくという枠組みにより、人材育成およびキャリア発達が効果を発揮することを明らかにした。